

気候変動を踏まえた新たな取組の方向性【江南市】



みんがでまもる土岐川・庄内川

- 気候変動に伴う水害リスクの増大に備え、これまでの「庄内川水系流域治水プロジェクト」に基づく取組に加え、主に「雨水貯留浸透施設」を重点的に取り組んでいく予定です。
- また、引き続き協議会構成員・オブザーバーが一丸となって『河川や流域での対策』や『流域治水への理解や参画を促す取組』を継続的に推進していくことにより、流域の安全・安心と持続的発展を目指します。

1. 現状

江南市は、平成初期の頃から雨水貯留施設の整備を始め、現在は17施設を管理しており、貯留容量は約5万1千 m^3 でその内、庄内川水系は15施設、貯留容量は約4万4千 m^3 となっている。

(※7箇所は学校グラウンドに設置)

令和5年度からは、県立古知野高等学校雨水貯留設置工事に着手し、令和7年度の完了に向け、順次、進めている。

〈江南市立北部中学校〉

貯留量 3,000 m^3

施工年度 平成25年～平成26年度

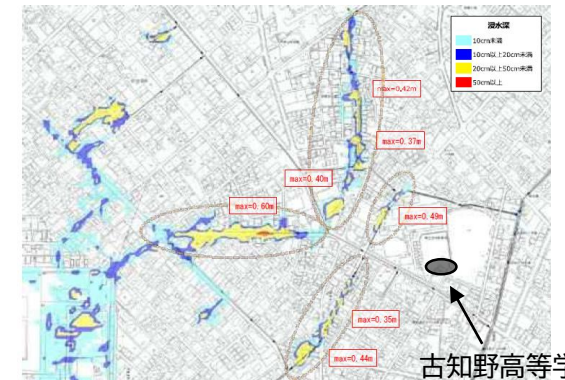


2. 県立古知野高等学校雨水貯留設置工事



- ・工事概要
貯留量 4,080 m^3
- ・施工年度
令和5年度～令和7年度
- ・施工スキーム
令和5年度 雨水貯留施設設置工事
令和6年度 雨水流入管布設工事
(第1工区・第2工区)
排水ポンプ設置工事
令和7年度 雨水流入管布設工事
(第3工区・第4工区)
上部整備工事

3. 整備効果



〈浸水被害状況〉



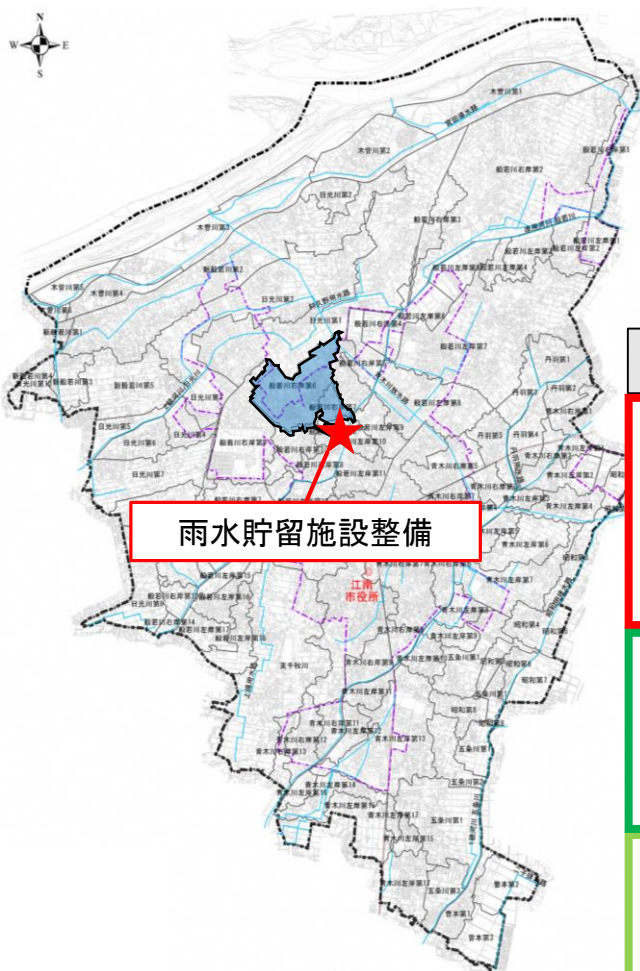
〈整備効果(想定)〉

対策前:約49cm ➡ 対策後:約20cm

【江南市の流域治水対策】

○江南市では、浸水被害のないまちづくりを推進し、【地域とつくる多様な暮らしを選べる生活都市】をめざす。

○具体の施策としては、雨水貯留施設整備や避難情報周知等の流域治水対策を実施していく。



H29五条川越水時の様子



R1降雨時の様子

対策メニュー

短期

中・長期

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 流出抑制対策
 - ・貯留管等の整備
(雨水貯留施設や雨水管線の整備)
 - ・民間開発による貯留施設設置指導
(江南市雨水流出抑制基準に基づく流出抑制指導)
 - ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援
(雨水貯留浸透施設設置費補助に対する助成)

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 被害軽減対策
 - ・要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成推進と避難の実効性確保
- 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・避難場所や経路等に関する情報の周知
 - ・分かりやすい教材を用いた防災教育・人材育成の推進
(住民の防災意識向上のための取組(防災教育の推進等))

【グリーンインフラの取組】

- 魅力ある水辺空間・賑わい創出
 - ・水辺の賑わい空間創出
(河川空間の利用促進(環境学習や憩いの場としての利活用))
- 自然環境が有する多様な機能活用の取組み
 - ・小中学校などにおける河川環境学習
(親子ふれあい観察会(ビオトープ池で、生き物を観察し、自然の大切さについて学ぶ))